

発行所株式会社空調タイムス社  
 本社 (〒105-0013)  
 東京都港区浜松町2-3-29  
 (磯山第2ビル)  
 電話代表番号 東京3433局6501  
 FAX: 東京 3433-6505  
 関西支社 (〒530-0015)  
 大阪市北区中崎西1-4-22(第八新興ビル)  
 電話代表番号 大阪6312局6061  
 URL http://ac-times.com  
 振替口座 00140-9-49445

# 空調タイムス

THE AIR-CONDITIONING TIMES

(昭和35年2月22日第三種郵便物認可) = 購読料一ヵ年15,000円 発行日毎週水曜日 =

# 3|24水

2010年〈平成22年〉

週刊

第2345号

## 溶解ガラス製の新商品開発

イチキコーポレーション

独自のゆうゆうシステム主力に

### 無機質成分で水処理を

環境にやさしい「自然と水の健康」を追求し、冷却塔の冷却水浄化方法や装置開発に取り組みイチキコーポレーション(社長=添田美明氏、本

社=大阪府枚方市)。同社は冷却水浄化システム「ゆうゆうシステム」を主力に、無機質成分による水質改善と節水を提議している。

ゆうゆうシステムは薬剤を投入する従来の水処理方法と異なり、有機薬品を含まない水処理剤を使用するのが特長。二酸化ケイ素や酸化ナトリウムなどを組成とした溶解性ガラス「ゆうゆうパック」や、小粒ボールの「ゆうゆうボール」を冷却塔内に投入し、水中のイオンバランスを調整して水質浄化を実現するシステムだ。レジオネラ属菌やスケール・スライム、さびなどを抑制するほか、薬品による排水弊害を解消し、環境負荷の軽減を図ることが可能。また冷却水の節水効果が得られることから、現在、大手流通チェーン店やメーカーの工場などで利用されている。

同社が2005年から製品展開している水処理剤。二酸化ケイ素や酸化ナトリウムを含むドックフード程度の小粒ボールで、無機質を基本とする。冷却水に投入して水中のカルシウムやマグネシウムと反応させることで、スケールを抑制する効果が得られる。

添田社長は「当社のホームページに大手企業からの引き合いが寄せられるなど、無機質での水処理を実現する『ゆうゆうシステム』への関心は高まっていると感じている。

最近では水処理事業においても価格競争が激しくなってきたというが、当社は従来の『ゆうゆうボール』よりレジオネラ属菌や藻類除去効果を一層高

めた『ゆうゆうパック』を主力に、環境に配慮した水処理を提案することで差別化を図ってきた」と方針を語っている。

同社はこれまで「ゆうゆうボール」を用いた水処理を提案してきたが、昨秋から「ゆうゆうパック」を製品化。2010年度は「ゆうゆうパック」を使用した水処理システムの提案を加速する考え。ゆうゆうパックの原料は二酸化ケイ素(SiO<sub>2</sub>)、酸化ナトリウム(Na<sub>2</sub>O)などを主成分とした溶解性ガラスであるため、水中に投入するとAゲイオンやCu<sup>+</sup>イオン、無機質イオンを放出する。これにより冷却水を浄化する仕組み。パック自体はAゲイオンタイプ(NA)、Cu<sup>+</sup>イオンタイプ(NC)、ガラス成分を変更した複合タイプ(WA)の3種類をラインアップしている。

一方「ゆうゆうボール」は